

半国山

(774m)

実施日： 02月24日（火）

天 候： 晴

参加者： 8名 川添、川鍋、園田、田中、檜崎、細田、牧野、園田

行 程： 赤熊バス停 10：15→10：30 地蔵堂 10：35→11：00 音羽の滝 11：04→11：50 尾根鞍部（牛つなぎ広場）11：58→12：21 半国山 13：05→14：05 小休止 14：13→14：36 金輪寺（きんりんじ）14：41→15：02 宮川神社→15：15 中野バス停

亀岡駅に8名が集まり、亀岡の一日乗車券を千円で購入。往復500円余りの節約になるようだ。天気予報も夕方6時までは晴れの予報。実はこのコースは2019年11月10日に12名で行ったことがあるのだが、その時の記憶は全くなく、はじめて辿った感覚であった。ともあれ、身支度をして出発する。バス停の少し先を左折し、少ない民家を抜け、獣除けのゲートを開けて山に入る。広くて気持ちの良い道を進む。15分程で地蔵堂に着き、衣服調整もし、歩き良い道を後に、音羽川の流れに沿って、岩がゴロゴロする歩きにくい道を上って行く。30分弱で音羽の滝に。少し休み滝を見る。

音羽の滝以降も、ゴロゴロ岩の道を上り、流れの音が聞こえなくなると、普通の山道に変わる。行く手の先に尾根の鞍部が見えるものの、なかなか近づけない。いつになったらたどり着けるのかと思いつながりの上りは結構こたえる。それでも12時少し前にやっと鞍部に到着。牛つなぎ広場と言うらしい。小休止を取り、左に尾根を上って行く。行く手にピークが見えるが、そこまで行くと更に先にピークが現れるという、よくあるパターンを繰り返す。計画では鞍部から山頂までは30分であったが、23分で到着したのは、老人クラブにしては立派。弁当に釣られたのか？

山頂は見晴らしがいいが、少し風があるので、風を避け気味に地蔵山から愛宕山の連なりを正面に見る場所でお弁当。昨日は5月の陽気、今日は4月の陽気という事で、冬の山とは思えない。食後もお茶を飲んだり、おやつを食べながら景色を眺める。帰路は宮川コースを下る。上りの音羽川沿いの道より歩きやすいが、ところどころ深い落葉が気になる。順調に下り、途中小休止を兼ね、おやつタイムを取り、金輪寺に到着。山中にしてはなかなか立派なお寺だ。ここから更に下り、獣除けの扉を開けた所が、宮川神社で、ここからは村の中を中野バス停に向う。15時25分発のバスの時間の10分前に到着しタイミングの良いゴールとなった。なかなかいい山歩きが出来るコースである、と言うのは前回と同じ感想であった。

歩行距離 8.6Km 累積上り 645m 累積下り 641m



1, 歩き始めは、広く歩きやすい気持ちよい道を



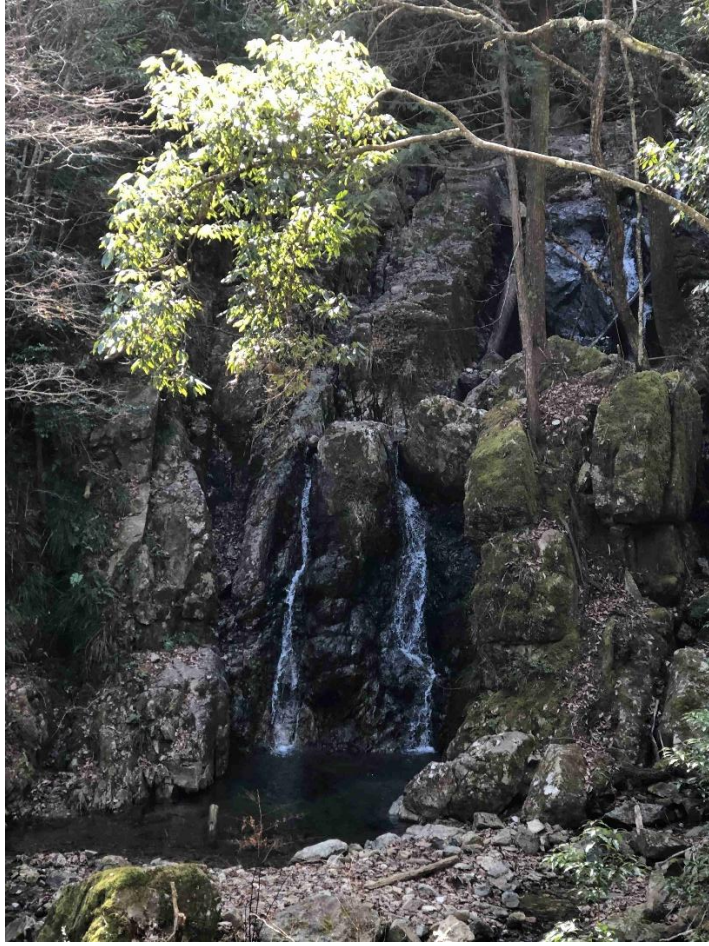
2, 広く歩きやすい道は、この地藏堂まで



3, 岩がごろごろする歩きにくい道を上る



4, 音羽川に沿って上る



5, 音羽の滝を見ながら小休止



6, 音羽川から離れ、尾根を目指し上る



7, 尾根に到着、この尾根の鞍部は「牛つなぎ広場」と言われているらしい



8, 牛つなぎ広場で休憩



9, 尾根を半国山山頂を目指す



10, 半国山山頂に到着



11、風を避け気味にお弁当タイム



12、山頂で全員



13, 下山開始



14, 金輪寺に到着